

みえ地物一番給食の日の取組（石薬師小学校 3年）

11月16日（木）さばのいせちゃふりかけ

3年社会見学の見学地の一つ「伊勢茶工房ささら」について事前の下調べ、事後のまとめを行った。

（資料 社会見学のしおりより）

伊勢茶工房ささら



【11:00～11:50】

*** 工場の中の見学は、赤白ぼうしをかぶり、上ぐつをはきます。**

鈴鹿市の西の地いきでは、茶畑がひろがり、たくさんのお茶がつくられています。

三重県のお茶の生産量は、全国で3位。鈴鹿市は、その三重県の中でもいちばんたくさんのお茶をつくっています。

この「伊勢茶工房ささら」には、鈴鹿市や四日市市でつくられたお茶がはこばれてきます。はこばれてきた葉をどのようにしてお茶にするのか、しっかりお話を聞いてみましょう。

「かぶせ茶」というお茶があります。お茶の葉を育てているときに、黒いネットをかぶせて日光をさえぎります。日光をあてないことによって、お茶のうまみ成分が多くなり、しぶみの少ないおいしいお茶ができるそうです。

また、バスのまどから外のけしきをよく見てみましょう。茶畑がたくさん広がっていますよ。気づいたことを書いておきましょう。



（資料 社会見学の写真）

